

海国釣り部釣果速報②①

日時：11月25日（月曜日）

16:00～16:45

場所：波浮港やしお付近

風：西南西 4%

天気：晴れ

水温：23.0℃

潮汐：長潮の下げ潮

12:59 138 cm(満潮)

19:59 79 cm(干潮)



図1 波浮港航空写真 ※星はポイント

釣果

イシガキダイ 23 cm 一匹

イシダイ 16～19 cm 三匹



図2 イシガキダイ(23 cm)



図3 イシダイ(17 cm)



図4 イシダイ(16 cm)



図5 イシダイ(19 cm)

仕掛け

フカセ釣り仕掛け：ウキ 1.5号、中通しオモリ 1号、からまんボウ、サルカン
ナイロンハリス 2号を1ヒロ、グレ針 6号、ガン玉 B 1つ

部員の感想

久しぶりの波浮港でのフカセ釣りとなりました。いつもはゆかいな仲間たちがいたのですが、色々あってソロでの釣行となりました。40分くらいできればいいと思いつつ、やしお横にエントリー。オキアミの混じった赤いコマセを手前に撒いてもフグ一機のみ。すごいスケスケの海に生命感を感じられなかつ

た。コマセを巻き始めて 10 分くらいして、表層から中層にオキアミを食べている何かの群れがきらりと視認できた。強制的かつ本能的に私自身のスイッチが押し込まれた。サルカンからウキ止めの位置を 2.5 ヒロにして、エサをオキアミ 2 匹掛けにして陸から 10m 以上？ 15m 以下？の位置にて仕掛けを沈めた。伊豆大島にしては珍しく風が弱く、追い風で水面は鏡面のような凪であった。ウキを中心に小さい波紋が広がり、大きな波紋と共にウキが沈むのがよく分かった。そこから、連荘で 3 匹のイシダイ。上顎に針がかりしていて、タナは合っているなど感じた。以前波浮でイシダイが釣れた時と比べれば、イスズミがいなくなって全体数も減っているように見えた。しかし、中には他とはちがう子がいた。合わせた瞬間にこいつはあの石鯛ではないと手を感じ取った。結果、上がってきたのはイシガキダイ。久方ぶりにフカセで釣るとやはり、興奮する。この短時間のソロ釣行にしては中々よさげな肴が確保出来たと振り返る。しかし、水温が高いためか、本命のグレはなかなか見えそうにない。あとひと月くらいはイシダイで遊んでいたいなど感じるこの頃であった。そして、付けエサのオキアミは甘かった。